

# 乱れる足並み

楽天ユニオンに賛同する店舗も増える中、この取り組みに反対する出店者もある。

「楽天の売り場で商売をしているのに、評判を下げる取り組みをして、自分で自分たちの首を絞めている」と考える店舗もある。

ある店舗は「楽天ユニオンは本当に違法性がある」というのであれば、訴訟をすればいい。それを

# らも賛否

しないのは法的な落ち度がないから。おとなしくルールの中でやり方を考

ルゴリズムの透明性について話題に上った。ヤフー、グーグル、アップルは、検索順位の表示基準について、閲覧可能にすることに賛成する旨の意思を明らかにした。一方楽天は、「検索表示の詳細なアルゴリズムは最大の営業秘密であり、開示は困難」という見解を示した。

えるべきだ。悪評を振りまく行為はやめてほしい」と話す。

楽天ユニオンは賛同する店舗や消費者の署名を集め、楽天にルール変更の撤回を求める考えだ。

楽天との交渉結果いかんでは、公取委への動き掛けや集団訴訟も辞さない構えだという。

楽天ユニオンは動画配信を始めるなど、活動が活発化している。楽天内の反発の動きが長引くことで、店舗同士の意見の食い違いも深まりそう

だ。楽天は今夏、新たな事業コンセプトとして「Walk together (ウォーク・トゥギャザー)」を掲げている。

だが、激しい変化を求めたことで、店舗の足並みは乱れつつある。

とで、インベーションを阻害する可能性がある」という点だ。「既存の法律を機動的に運用してはどうか」（楽天）といった意見や、「事業者が自主基準を策定し、国が監督するのはどうか」（ヤフー）といった声も聞かれた。

政府は、DPP規制の方向性として、DPPのデータの取り扱いや検索表示

# ODR事業者協会を発足

発足会見でODR推進の展望など説明

勉強会や調停人育成が狙い



あいさつする大橋良一代表理事

ODR（オンラインでの紛争解決手続き）の推進を狙いとし、ODRに関連する研究や情報発信を行う団体として、一般社団法人ODR事業者協会

会（事務局東京都、大橋良一代表理事）が11月20日に発足した。同日、都内で発足会見を開催。大橋代表理事をはじめとして有識者が登壇し、今後の活動の概要やODR推進の展望、海外におけるODR運用の事例を解説した。

大橋代表理事は弁護士で、「消費者は『弁護士へのアクセスが難しい』『費用が高い』などの理由から裁判を諦めるケースが多い」と述べ、「ECサイトでも一定数の消費者がトラブルに遭っている。現在、その不満や

悩みを吸収してくれるのはネットの掲示板がほとんど」と説明。一般人にとって裁判・訴訟へのハードルの高さを訴えた。ODRの推進によって、「紛争・トラブルによる不幸の最小化」（同）につながることを話した。

# 87事業者に改善要請

消費者庁 ネット上の虚偽・誇大表示で

消費者庁は11月22日、インターネット上で健康食品などを販売する87事業者に対し、健康増進法に違反する恐れがあると、表示の改善を要請したと発表した。ショッピ

その結果、健康増進法の規定に違反する恐れがあるとして、87事業者による112商品について表示の改善を要請した。商品の内訳は、「いわゆる健康食品」(87商品)、「加工食品」(12商品)、「飲料等」(12商品)、「生鮮食品」(1商品)。

め、事業者にとっても利益になる点を強調。「初期投資回収の可否が事業者にとってネックになっている。当協会の活動を通じて、事業者にはODR化の後押しになってほしい」と期待を寄せた。

また、「初期投資だけでも政府予算でサポートしてくれば導入が加速するのでは。自社で運用している顧客対応のチャットボットなどがある場

# これからは内側から輝くアシュリン

ご存知ですか?「食べるエステ」

フランス生まれの美容・健康素材に独自のアレンジを加えました。

内外美容に注目した輝くアシュリンがここにあります